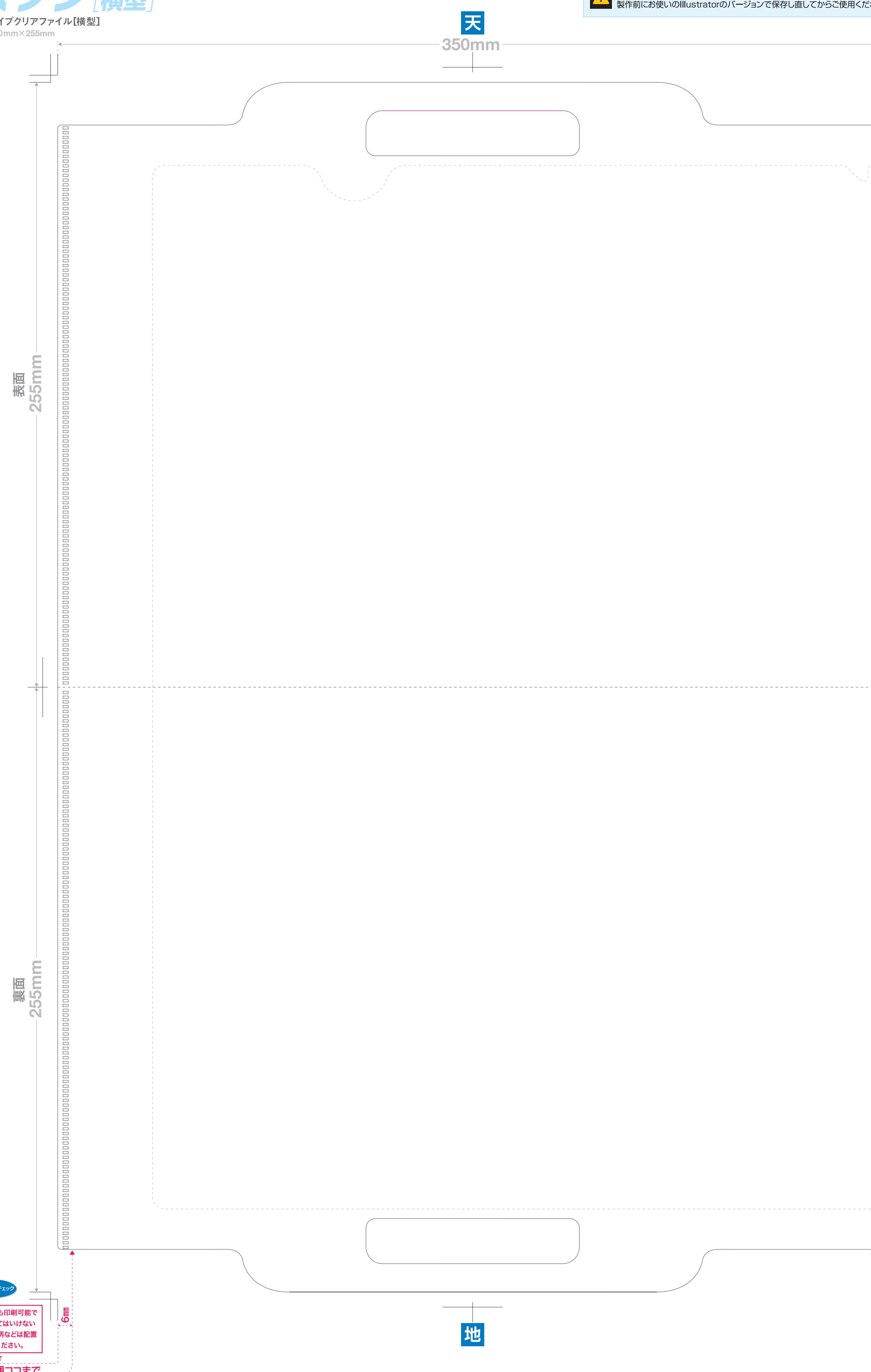


バッグ[横型]

バッグタイプクリアファイル[横型]

SIZE:350mm×255mm



このテンプレートはIllustrator ver.10で保存しています。
製作前にお使いのIllustratorのバージョンで保存し直してからご使用ください。

データ製作ガイド

ドキュメントのラスタライズ効果設定は高解像度になっていますか?
設定方法:メニューバー→効果→ドキュメントのラスタライズ効果設定→解像度(推奨_その他-350ppi)

文字はアウトライン化されていますか?

リンク画像ファイルなど必要なデータは描っていますか?
埋め込みの場合も店舗にて確認しますので必ずご用意ください。

リンク画像ファイルのカラーモードはCMYKになっていますか?
RGBでも可ですが、印刷色の変化が生じる可能性があります。

入稿データのカラーモードはCMYKになっていますか?

データは正常に開きますか?

入稿データは圧縮形式になっていますか?
必要なファイル(作成データ、リンク画像など)を、フォルダにまとめて圧縮してください。

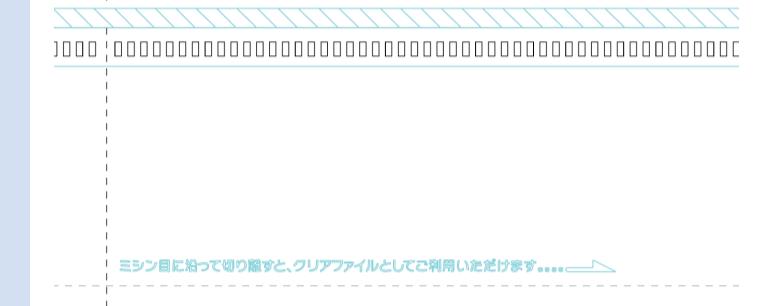
絵柄を透かさない場合はホワイト版(白打ち)データを作成してください。

PDF(ポリゴン)は透明な要素ですので、印刷する結果が透けて見えます。そのため、透明な部分が透けて見えます。白で印刷する場合、白で印刷する場合は、白で印刷する部分をホワイト版(K100%)で表現することになります。

クリアファイルに使用される素材は、透明材料のため印刷時に伸縮が起こることがあります。その為プロセスデータの絵柄と同じ大きさでホワイト版(白打ち)を作成すると、伸縮のことで

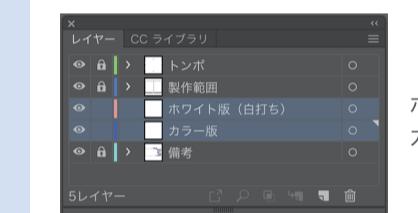
白飛びしてしまうので、ホワイト版(白打ち)の範囲にプロセスデータを縮約±0.1mmでオフセットして作成してください。(オフセットした元のオブジェクトは必ず削除してください)。

切り離しの注釈について



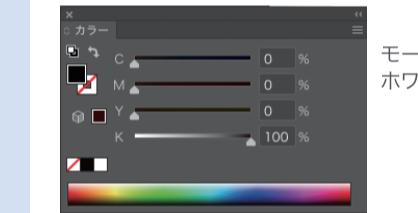
バッグタイプからA4クリアファイルに切り離す際の注釈につきましてはガイドで作成しておりますので、ガイドを解除していただきご希望の色に変更してご使用ください。

使用レイヤーについて



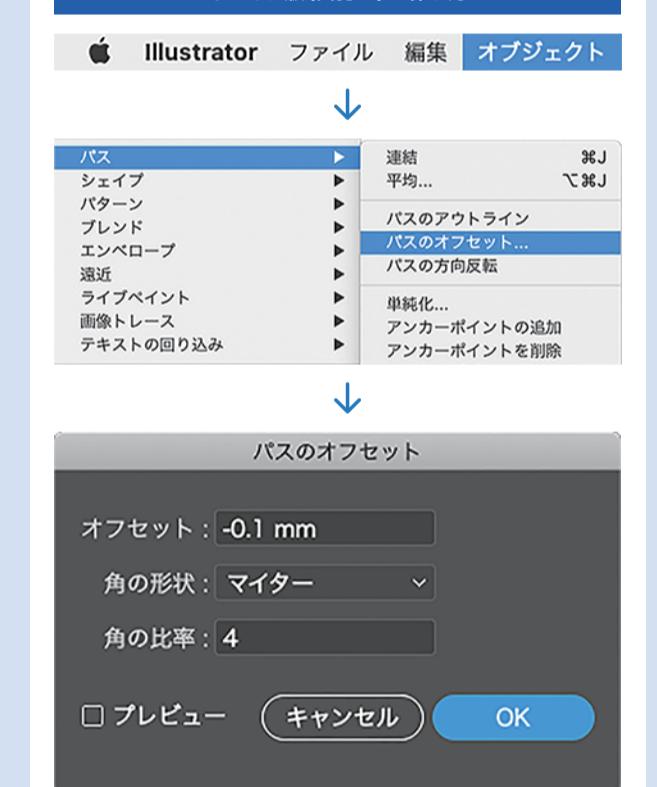
ホワイト版(白打ち)データは「ホワイト版」レイヤーに
カラーデータは「カラー版」レイヤーに作成してください。

ホワイト版(白打ち)のカラー設定



モード:CMYKの場合
ホワイト版(白打ち)を作成する場合、左記例(K100%)の様に単色ベタ塗りで設定してください。

ホワイト版(白打ち)の作り方

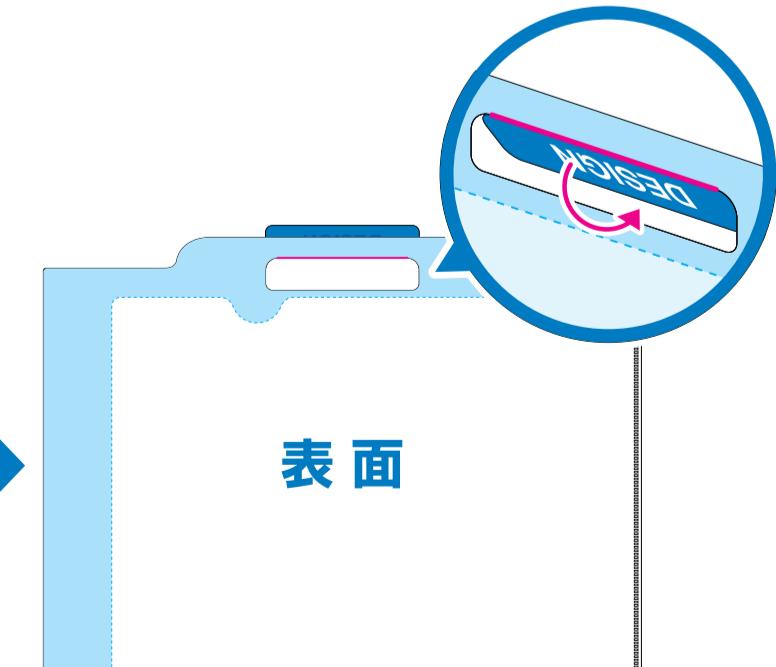


ホワイト版(白打ち)の仕上がりイメージ



表面の「持ち手」のマゼンタ墨線部分は、本体と接合されているため、開くと中身がでないストップperとしても活躍。ワンポイントのデザイン領域としてもご使用可能です。

※裏面の持ち手部分は、ヌキになるため絵柄は入れられません。



ガイド表示でチェック

溶着範囲も印刷可能ですが欠けてはいけない文字や絵柄などは配置しないでください。

ONE POINT

溶着範囲ここまで

ガイド表示でチェック

溶着範囲も印刷可能ですが欠けてはいけない文字や絵柄などは配置しないでください。

ONE POINT

溶着範囲ここまで